

いまむら みずほ
今村 江穂さん

認定NPO法人子どもと文化のひろば ふれいおん・とかち理事長

1967年生まれ。福岡県北九州市出身。夫の転勤を機に当時5歳の長女と帯広市へ移住。子ども・子育ての活動支援の必要性を感じ、NPOの前進となる「おやこ劇場」の取り組みに参加。以降、当法人理事長として世代を超えたつながりあいや共感出来る場の提供に尽力。2018年2月には北海道より「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」を受賞。子ども環境アドバイザー。



私たちの暮らすマチを子どもや子育てにやさしいマチに

きっかけ

夫の転職で当時5歳の長女と帯広市での生活が始まりましたが、子どもに喜んでもらえる場や子育てで悩んでいる保護者が気軽に話し合える場の必要性を感じ、当NPO法人の前身となる「おやこ劇場」の取り組みに参画しました。たくさんの人の輪の中で子育てしたいと願っていたので、共感できる多くの仲間に出会えてほっとしました。

その後、2006年にはNPO法人化し、人形劇などの舞台芸術鑑賞に加えて、あそび体験プログラムや親子あそびなどの生活文化体験、乳幼児と親に遊びと学びの場を提供する取り組みなど、地域の会員の皆さんと協力しながら、子ども・子育ての活動支援を続けています。

苦労

子育ての不安や悩みを抱える多くのお父さんお母さんのために、広く活動を知ってもらい参加しやすい態勢を整えていきたいと考えています。しかし、現在の活動は、主に正会員やサポーター会員の会費で運営されており、ボランティア精神に委ねている部分が大きいのが悩み。活動の灯を絶やさず、継続していくためにも人件費等の安定的な活動資金の確保が課題です。

“子どもは未来！子どもは地域のたからもの！”の理解を助け、私たちの活動に共感してくれるファンを増やすこと、資金を調達できる仕組みをつくることに地道に奮闘しています。

満足度

新たな体験や他の子ども達との関わりなど様々な経験を通じて子ども達自身が変化していく姿を間近で見られるのが何より楽しいですし、自分自身も新たな気づきを得られるのが幸せです。

「子育てはみんなで！」をモットーに、親が孤立せず、多世代の緩やかなつながりの中で「子育て親育ち」ができる安心感を多くの人に体感して欲しいと願っています。

0歳から参加する子どもたちや、しばらくぶりに再会して中高生や若者となった姿を見られることも喜びの一つ。大きな家族のように、苦楽を分かち合える関係性は宝物です。

これから

20年以上この活動を続けてきましたが、親子で触れ合ったり、共通の体験を積み重ねながら、人と人がつながることが出来る場づくりを続けていくことがますます重要になっていると感じます。そのためにも、今まで同様に地域や会員のみなで、子どもを取り巻く状況を把握し、思いを共有しながら、できることから楽しみながらアクションしていきたいです。そのことが、我が子だけでなく、地域の子ども全体にとってのより良い環境づくりにつながると信じています。

こういった活動への応援の輪が広がり、地域に寄り添った息の長い活動にできればと考えています。

自らが楽しみながら、子どもの成長を間近で見られ、親が笑顔になることが何より嬉しいし、それが地域に役立っているのなら、これほど嬉しいことはありません！